

令和4年度

県立広島大学助産学専攻科入学試験

## 専門科目入学試験問題

(母性看護学・小児看護学)

試験時間 10:00～11:00

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子（14 ページ）には、解答用紙（2 枚）が挟み込んであります。試験開始の合図があつたら、直ちに中を確認、印刷や枚数の不備などがあった場合、監督者に申し出なさい。
- 3 問題冊子の中に挟み込んである解答用紙を取り出して、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入しなさい。
- 5 試験室で配付された問題冊子は、退出時に持ち帰りなさい。

このページは白紙です。

このページは白紙です。

I 次の【問1】～【問5】に答えなさい。

【問1】 次の a～e の中から正しい記述を3つ選びなさい。

- a. 合計特殊出生率は、「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、2つの種類があり、一人の女性はその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。
- b. 令和2年の出生数（総数）において、母の年齢（5歳階級）別では、45歳以上で前年より増加し、44歳以下の各階級では減少している。
- c. 令和2年の平均初婚年齢は、夫 31.0歳、妻 29.4歳で、前年と変わらない。
- d. 令和2年の再婚件数の割合をみると、夫 19.4%、妻 16.8%で、夫妻とも前年より増加している。
- e. 1歳未満の乳児死亡数の死因別構成割合では、男女とも「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多くなっている。

【問2】 「健やか親子21（第2次）」について、次の a～e の中から正しい記述を2つ選びなさい。

- a. 「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」では、「妊娠中の妊婦の喫煙率」の中間および最終評価目標を0%としている。
- b. 「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」では、「歯肉に炎症がある十代の割合」の最終評価目標を10%としている。
- c. 「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」は基盤課題の一つである。
- d. 「育児期からの児童の虐待防止対策」は重点課題の一つである。
- e. 「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」では、「積極的に育児をしている父親の割合」の中間評価目標を50%としている。

【問3】 次の a～e の中から 誤っている記述を2つ 選びなさい。

- a. 母子保健法は、1965年（昭和40年）に制定され、国民保健の向上に寄与することを目的とする。
- b. 母子保健法において「妊産婦」とは、妊娠中又は出産後半年以内の女子をいう。
- c. 児童福祉法は、1947年（昭和22年）に制定され、国は、児童相談所を設置しなければならない。
- d. 2008年（平成20年）に施行された「児童虐待の防止等に関する法律及び児童福祉法の一部を改正する法律」の目的は、児童の権利利益の擁護に資することを明記するものである。
- e. 少子化社会対策基本法は、2003年（平成15年）に施行され、基本的施策の中に「ゆとりのある教育の推進等」、「経済的負担の軽減」が含まれる。

【問4】 わが国の健康診査について、次の a～e の中から 誤っている記述を1つ 選びなさい。

- a. 妊婦健康診査は、母子保健法において、市町村に実施義務がある。
- b. 産婦健康診査事業は、産後うつ予防や新生児への虐待などを図る視点から2017（平成29）年度より、一部の自治体で開始された。
- c. 乳幼児健康診査の役割のひとつに、養育状態・育児環境へのアプローチがある。
- d. 児童福祉法において、1歳6か月児健康診査および3歳児健康診査は法定健診で市町村に義務がある。
- e. 乳幼児健康診査において、発達障害の早期発見に取り組んでいる。

【問5】 「児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）」における「児童虐待」（第二条）の一部について、（a）～（d）に入る正しい語句を答えなさい。

この法律において、「児童虐待」とは、保護者（親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう。以下同じ。）がその監護する児童（十八歳に満たない者をいう。以下同じ。）について行う次に掲げる行為をいう。

- 一 児童の（ a ）に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。
- 二 児童に（ b ）行為をすること又は児童をして（ b ）行為をさせること。
- 三 児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は（ c ）、保護者以外の同居人による前二号又は次号に掲げる行為と同様の行為の放置その他の保護者としての監護を著しく怠ること。
- 四 児童に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応、児童が同居する家庭における（ d ）に対する暴力、その他の児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

Ⅱ 次の【問1】～【問3】に答えなさい。

【問1】 次の1～5について、正しい記述には○を、誤った記述には×を答えなさい。

1. 妊娠初期は、プロゲステロンの影響により、大腸の平滑筋が弛緩し蠕動運動が減少すること、つわりによる食事摂取不足と脱水傾向によって便秘傾向になる。
2. 妊娠すると、女性の体温は、エストロゲンの作用により高温相が持続する。
3. 正常妊娠による母体の糖代謝は、非妊時に比べて、食後のインスリン分泌が低下する。
4. 産婦の産痛緩和法には、マッサージ、指圧、温罨法等があり、薬物を使用しない痛みの緩和法は、リード理論で説明できる。
5. 下垂体後葉からオキシトシンが分泌し、射乳反射を起こさせて母乳を乳腺房から押し出す乳汁分泌・産生の調節過程をエンドクリン・コントロールという。

【問2】 次の文章の（a）～（d）に当てはまる語句を答えなさい。

1. 世界保健機関（WHO）が提唱した新しい寿命の指標で、平均寿命から介護状態の期間を差し引いた期間のことを（a）という。
2. 産科医療補償制度は、出生した子が重度（b）になって要件を満たした場合、補償される制度である。
3. 産前・産後サポート事業の対象者の把握は、（c）の交付、妊婦健康診査、妊婦訪問、産婦健康診査、産婦訪問、新生児訪問、乳幼児健康診査等の母子保健事業又は本人・家族による申請を通じて把握する。
4. （d）とは、自分の性をどのように認識しているのか、どのような性のアイデンティティ（性同一性）を自分の感覚として持っているかを示す概念である。

【問3】 次の文章の（ a ）～（ l ）にあてはまる最も適切な語句を、次ページの（ア）～（ナ）の中から選び、記号で答えなさい。同じ記号を何度選んでもよい。

1. 続発性無月経は、妊娠などの生理的無月経を除き、それまで順調にあった月経が（ a ）か月以上停止したものである。
2. 思春期の特徴としてみられる第2次性徴の発現や初経は、卵巣から分泌される（ b ）によって引き起こされる。
3. 令和元年の性感染症の発生動向をみると、女性の梅毒感染者は（ c ）歳代が一番多い。
4. 不妊症の検査の1つとして、排卵直前の最も妊娠しやすい日に性交を行い、翌日、女性の子宮頸管粘液を採取し、その中に運動精子を認めるかどうかを調べる検査を（ d ）という。
5. 排卵と受精を補助する治療として、一般的にタイミング法→（ e ）→人工授精→（ f ）というように、数周期で妊娠しない場合に治療法をステップアップさせていく。
6. 出生前診断を目的とした羊水検査は（ g ）、母体血清マーカー検査は（ h ）である。
7. 骨盤臓器脱による症状のひとつとして（ i ）があり、一般的に（ j ）に症状が強くみられる。
8. 女性の労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合）は、いわゆる（ k ）字カーブを描くことが知られている。
9. 育てにくさの要因は、子どもの要因、親の要因、親子の関係による要因、親子を取り囲む（ l ）の要因がある。



(ア) 黄体機能検査

(イ) Huhner テスト

(ウ) エストロゲン

(エ) 10

(オ) 20

(カ) 30

(キ) 体外受精

(ク) 排卵誘発法

(ケ) 確定的検査

(コ) 3

(サ) 6

(シ) 非確定的検査

(ス) 午後

(セ) 排尿困難

(ソ) 午前

(タ) 下腹部痛

(チ) M

(ツ) W

(テ) 就労

(ト) 環境

(ナ) 学習

Ⅲ 次の A さんの状況 [ ] を読んで、【問 1】～【問 10】の設問に答えなさい。

<妊娠期>

A さん，30 歳，初妊婦。夫と二人暮らしである。職業はデパートの受付をしており，立ち仕事が多い。通勤は自家用車で 30 分程度である。

身長 156cm，非妊時体重 49.0kg であった。

妊娠 10 週，血圧 102/68mmHg，体重 48.0kg，尿蛋白（－），尿糖（－），両下肢の浮腫（－）であった。医師による経膈超音波検査で，胎児心拍を確認した。A さんは，「ご飯を一口食べると吐いてしまいます。妊娠をしたのは嬉しいけど，今は食事を作ったり洗濯をしたりするのがつらい」と話した。

妊娠 28 週，血圧 108/72mmHg，体重 55.0kg，尿蛋白（－），尿糖（－），浮腫（－）であった。血液検査で，ヘモグロビン 10.5g/dl，ヘマトクリット 31.5% であった。「仕事が忙しく，夜ご飯はデパ地下で買ったお惣菜やお弁当を食べることが多い」と話した。

【問 1】「妊産婦のための食生活指針（2021 年 3 月改定）」によると，A さんの妊娠中の体重増加指導の目安は，（ a ）～（ b ）kg である。（ a ）・（ b ）に入る数字を答えなさい。

【問 2】妊娠 10 週時の助産師の対応で，適切なものはどれか。2 つ選びなさい。

- a. 栄養価やバランスを気にすることなく，食べるよう説明する。
- b. 食べ物を温めて食べるよう説明する。
- c. 1 日 3 食，確実に食べるように説明する。
- d. 夫との家事的負担の軽減について話し合うよう提案する。
- e. 空腹になってから食事をするよう説明する。

【問3】妊娠28週時の助産師の対応で、適切なものはどれか。2つ選びなさい。

- a. 妊娠前に比べて、250kcal余分にエネルギーを摂る必要があると説明する。
- b. 1回の食事量を減らし、1日に4～6回の分割食を提案する。
- c. 日々の食習慣や食事内容を確認する。
- d. 食事中に、緑茶や紅茶を飲むことを勧める。
- e. 鉄分の多い食品とビタミンCを一緒に食べるよう提案する。

<分娩期>

Aさんは、妊娠37週6日、午後8時に陣痛が開始し、翌日の午前1時に入院した。午後1時に羊水流出感があり、診察で破水が確認された。午後1時30分に努責感が出現し、子宮口全開大が確認された。午後3時30分に2,800gの児を娩出した。午後3時45分に胎盤娩出した。

胎盤娩出時の体温37.0℃、脈拍80回/分、血圧90/58mmHgであった。分娩時出血量は、800mlであった。

出生直後の児は、弱い啼泣であった。1分が経過し、児は強く泣き、心拍数は160回/分。体幹はピンク色で手や足にはチアノーゼがあった。口の中の羊水を拭うとくしゃみをし、四肢はやや屈曲していた。

Aさんは、バースプランで早期母子接触を希望していた。出生後の母児の健康状態は良好であり、早期母子接触ができると判断した。

【問4】分娩経過のアセスメントで正しいのはどれか。1つ選びなさい。

- a. 早期産である。
- b. 適時破水である。
- c. 分娩所要時間は19時間30分である。
- d. 分娩時出血量は正常範囲内である。
- e. 分娩第2期遷延である。

【問5】胎盤娩出時のSI（ショックインデックス）の数値を小数第1位まで答えなさい。

【問6】出生1分後のアプガースコアの点数を答えなさい。

【問7】Aさん母子の早期母子接触の実施時に、助産師が対応することで誤っているものはどれか。1つ選びなさい。

- a. Aさんの上体をフラット（平ら）にする。
- b. 新生児を温めたバスタオルで覆う。
- c. Aさんの胸と新生児の胸を合わせて、Aさんに両手で児を支えてもらう。
- d. 早期母子接触の希望を再度確認する。
- e. 新生児に経皮的動脈血酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）モニターを装着する。

<産褥期・新生児期>

Aさんは妊娠中から母乳育児を希望しており、産褥1日目から母児同室を開始していた。母子同室開始時より、Aさんは2時間おきに授乳をしていた。

生後2日目、児の体重は2,700gであった。産褥2日目の夕方、Aさんは「こんなに授乳しているのに、赤ちゃんはすぐに泣きます。母乳だけでは足りないのでしょうか」と話し、疲れた様子であった。乳房は熱感を帯びて緊満しており、乳頭を圧迫するとタラタラと乳汁が流れ出てくる。児の吸啜状態は良好で、排尿は5回/日、排便は2回/日であった。助産師は、Aさんの気持ちを傾聴した。

Aさんの産褥経過・児の経過は問題なく、予定通り産褥・生後5日目に退院した。

産褥14日目、Aさんは母乳外来に来院した。児の健康状態は良好、体重増加は28g/日。Aさんは「母乳が足りているかわからなくて、1回40mlのミルクを1日4～5回足しているのですが、この子は泣いてばかりで、私は全然眠れないです」と暗い表情で話した。

【問8】生後2日目の児の体重減少率を小数第1位まで答えなさい。

【問9】産褥2日目の下線部の後の助産師の対応で、適切なのはどれか。2つ 選びなさい。

- a. 毎回、ミルクを補足するよう説明する。
- b. これまでのペースで授乳を続けるよう説明する。
- c. 夜間（21時～翌日6時）は授乳を休んでもらう。
- d. Aさんを労う。
- e. 乳房緊満がなくなるまで搾乳するよう説明する。

【問10】産褥14日目の助産師の対応で最も適切なのはどれか。1つ 選びなさい。

- a. 産後うつ病であると伝える。
- b. ミルクの量が適切ではないと指導する。
- c. 母乳を止めることを提案する。
- d. 自宅での児との生活について話を聞く。
- e. 産後は眠れないのは、辛抱するしかないと説明する。

Ⅳ 次の【問1】、【問2】に答えなさい。

【問1】 次の文章1～8について、( )の中の正しい記号を選択し、その理由を説明しなさい。

1. 重症のファロー四徴症では、( a. インドメタシン b. プロスタグランジン E<sub>1</sub> ) を投与する。
2. 胎便吸引症候群は、( a. 早産 b. 正期産 ) 児に起こりやすい
3. 呼吸窮迫症候群を予防するために、母親に ( a. ステロイド b. 抗生物質 ) を投与する。
4. クレチン症の新生児マススクリーニングでは、血中の ( a. TSH b. 甲状腺ホルモン ) を測定する。
5. フェニルケトン尿症では、早期から ( a. フェニルアラニン b. チロシン ) が少ないミルクを与える必要がある。
6. ターナー症候群の染色体数は、( a. 45本 b. 46本 ) である。
7. 乳児の頭蓋内出血の予防として、( a. 血小板 b. ビタミン K ) を定期的に投与する。
8. ( a. 鼠径 b. 臍 ) ヘルニアでは早期に手術を行う必要がある。

【問2】 2021年4月時点での予防接種法に基づき、次の内容に該当する小児の予防接種を下記の一覧から全て選び、記号で答えなさい。

1. 生ワクチン
2. 定期接種
3. 1回接種
4. 生後2か月から接種を推奨
5. 悪性腫瘍の発症予防 (二次性も含む)

a. ロタウイルス5価	b. HPV	c. BCG	d. おたふくかぜ	e. B型肝炎
f. インフルエンザ	g. 水痘	h. ヒブ	i. MR	j. 日本脳炎